

平成 30 年 4 月 1 日

平成 30 年度の運用調整費について

固定・移動の区別だけではなく、周波数帯ごとの特性、TV ホワイトスペース等利用システム運用調整協議会への負担金、並びに機構の運用調整業務経費を鑑みて検討した結果、下表の運用調整単価に決定致しました（平成 28 年度臨時理事会にて審議承認、平成 29 年通常総会にて承認）。

一般社団法人特定ラジオマイク運用調整機構

ラジオマイク・イヤーマニター

※1 局あたりの単価 消費税別途

項目	2・4 帯	WS または専用帯	WS+専用帯	1.2G
固 定	900 円	900 円	900 円	900 円
移 動	2,100 円	1,200 円	1,800 円	2,100 円

注:平成 30 年度運用調整費のご請求は、平成 29 年度末の全所有局数に上記単価をかけた金額になります。

新周波数帯機器へ移行している会員で、一時的な並行運用として現行 2・4 帯マイクが手元にある場合、

廃棄の日程が決定しているものにつきましては局数としてカウントしません。

TV ホワイトスペース等利用システム運用調整協議会と負担金について

TV ホワイトスペース帯や 1.2GHz 帯は、特定ラジオマイクやエリア放送、FPU など様々な無線システムで共用しています。これら異なった無線システム間の運用調整を行っているのが、「TV ホワイトスペース等利用システム運用調整協議会（以下、WS 協議会）」です。WS 協議会は、当機構や放送事業者、エリア放送事業者、その他関係団体などで構成されています。

当機構は、WS 協議会事務局のラジオマイク運用調整担当として機能しているほか、団体会員として同協議会に加入しています。特定ラジオマイクの免許人である当機構会員は、当機構を通して WS 協議会へ加入しているというかたちになります。

運用調整システムの維持・管理費用について当機構の負担分としては、当機構会員から納めて頂いている運用調整費のうち、現状、特定ラジオマイク 1 局につき実質、年間 660 円を WS 協議会へ納めています。